

山形県サッカー協会 公式記録

第95回全国高校サッカー選手権大会山形県大会

主審サイン	野掘 桂佑	記録員	石原 奏
-------	-------	-----	------

日時	2016年10月29日 13:00 KICK OFF	試合形式	80分 20分延長 PK	会場名	NDソフトスタジアム山形
天候	晴・(曇)・雨	風	(強)弱・微風	ピッチ状態	芝 良好
主審	野掘 桂佑	副審	清水 友	副審	小川 靖宏
第4審判	小田 千絵美	観衆数	1500人		

(チーム名)	山形中央高校	2	0	前 半	0	1	(チーム名)	山形商業高校
■KICK OFF	<input type="checkbox"/> 延長KICK OFF	PK方式				<input type="checkbox"/> KICK OFF	<input type="checkbox"/> 延長KICK OFF	

交代		シュート					得点	選手名				No	位置	位置	No	選手名				得点	シュート					交代				
No	OUT時間	延後	延前	後半	前半	計		選手名	No	位置	位置					No	選手名	No	位置		位置	No	選手名	No	位置	位置	No	計	前半	後半
								阿部 拓真	1	GK	DF	2	本間 拓海																	
								工藤 万尋	2	DF	DF	3	井上 卯夢																	
								貝山 龍平	3	DF	DF	4	奥山 温葵																	
								植松 真哉	14	DF	DF	5	工藤 勇也																	
								高瀬 雄太	5	MF	MF	7	早坂 拓海	1	1															
								渡部 航誠	6	MF	FW	9	進藤 陸	1		1														
								加藤 優一	7	FW	MF	10	横山 颯汰	2	1	1														
								中川 和彦	8	FW	MF	11	奥山 公介	1	1														72	18
								八矢 悠雅	9	FW	FW	13	吉田 篤志	1	4	2	2													
								岩村 豊	10	MF	MF	14	沓澤 優真	1	1															
13	64							松本 武	11	MF	GK	15	阿部 優也																	
								安達 瑞樹	13	MF	MF	18	三沢 大介																	

警告・退場										延後	延前	後半	前半	チーム合計						延前	延後	警告・退場				
時間	警・退	No	氏 名	内容	シュート	GK	CK	直接FK	間接FK					(オフサイド)	PK	時間	警・退	No	氏 名			内容				
54	警	2	工藤 万尋	反スポ	9	10	6	4	3	2	0	60	警	13	吉田 篤志	反スポ										
					7	16	8	1	3	4																
					4	3	2	4	6	2	4															
					7	11	6	4	3	2	2															
					0	6	2	4	2	2	2															
					4	2	2	2	2	2	2															
					0	0	0	0	0	0	0															

得点時間	得点チーム	No	得点者	スコア	得点経過	記載例	→:ドリブル	→:ゴロパス	↑:浮き球パス	×:混戦	S:シュート	H:ヘッド
28	山形中央	10	岩村 豊	1-0	6	→	8	→	10	S		
39	山形中央	9	八矢 悠雅	2-0	7	~	→	5	→	9	S	
61	山形商業	13	吉田 篤志	2-1	13	~	S					
				-								
				-								
				-								
				-								
				-								

PK戦(チーム名)	○×	No	1	No	2	No	3	No	4	No	5	No	6	No	7	No	8	No	9	No	10	No	11	No	12	No	13	No	14
	先																												
	後																												

【戦評】 記者 [勤務先]

石山 隆雄 [新庄北高校]

時折風が強く吹く中で、山形中央は1-3-6-1、山形商業は1-4-4-2のシステムで試合が始まった。山中央はボールポゼッションを高めながら、ワイドの⑤⑩、シャドーの⑦⑧、FW⑨が流動的に動きながら攻撃の糸口をつかもうとする。対する山商は技術とスピードを兼ね備えたFW③を軸にして、⑨⑩の個の力を最大限に活かして相手ゴールに迫ると狙っていた。前半立ち上がりは山商FWにボールが収まると周りの選手が効果的に関わって数的優位を作りながら相手を押し込む。山中央もGK①の的確なコーチングをもとにバイタルエリアで組織的で強固な守備で山商の攻撃を食い止める。中盤での一進一退の攻防が続く中で28分に⑥の突破から⑧が相手をひきつけ、⑩の素晴らしいミドルシュートで山中央が先制する。先制した後は山中央は攻守の切り替えが速く、連動した守備からリズムを作った。続く39分に相手のミス逃がさずショートカウンターから⑤の突破から⑨が確実に決め2-0で前半を折り返した。後半に入り、縦への推進力を活かして山商がリズムを作り出す。61分に相手DFラインの裏に飛び出した山商FW⑬が1点を入れて反撃する。その後も山商はセットプレーからチャンスを作り出すが決定機を作ることができず、そのまま山中央がリードを守り切り勝利した。両チームともタフに戦い決勝にふさわしい白熱した展開となった。